

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	その他/BL3—B (Business Leadership 3-B)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	リーダーシップ・セルフアウェアネス		
担当者名 (Instructor)	樋口 咲恵(HIGUCHI SAKIE)		
学期 (Semester)	秋学期2(Fall Semester 2)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	BUS2510	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

リーダーシップの出発点である自己認識力を涵養する。この授業では、自分の内側にある思考・感情や自己概念に着目し、他者の視点も参考にしながら、「自分らしい」リーダーシップを構築することを目標とする。

Cultivate ability of self-awareness as a starting point of leadership: The course objective is to develop “own” leadership by focusing on their conception, emotion, and self-concept and using examples from another person’s perspective.

授業の内容 (Course Contents)

BL3-B(リーダーシップ・セルフアウェアネス)の授業では、自分の思考や感情・価値観・その起点にある自己概念を丁寧に観察し、他者の視点も参考にしながら自己理解を深めていく。自身のリアルテーマを扱いながら、自己認識するやり方を学習するため、自己開示と授業内/外での実践が求められる。この授業では自己認識から「自分らしい」リーダーシップの開発を目指す。

During the BL3-B(Leadership Self-Awareness), students are going to enhance self-awareness by careful observation of thought, emotion, sense of value, and self-concept as its origination.

Since dealing with their practical challenge is a way of learning self-awareness, self-disclosure and actual practices are required in and out of coursework.

Based on self-awareness, students are going to develop their “own” leadership in this course.

授業計画 (Course Schedule)

- SS1: これからの時代に必要なリーダーシップ・セルフアウェアネス①
- SS1: これからの時代に必要なリーダーシップ・セルフアウェアネス②
- SS2: 思いこみからの脱却: 事実と解釈を区別する①
- SS2: 思いこみからの脱却: 事実と解釈を区別する②
- SS3: 事実を明確にする
- SS3: 感情の奥にあるニーズ
- SS4: 感情とニーズを活用し、新たな関係性を構築する①
- SS4: 感情とニーズを活用し、新たな関係性を構築する②
- SS5: 現実創造を制限するメンタルモデルの探求①
- SS5: 現実創造を制限するメンタルモデルの探求②
- SS6: 外面的自己から気づく
- SS6: メンタルモデルを緩める
- SS7: 起点から源を選択し望む未来をつくる
- SS7: リーダーシップ・セルフアウェアネス振り返り

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

毎週 2 時間程度

成績評価方法・基準 (Evaluation)

授業中アウトプット(発言・発表・質疑応答等)(40%) / 課題提出物(40%) / 最終レポート(Final Report)(20%)

テキスト (Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

- DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー編集部, 2019, 『セルフ・アウェアネス (ハーバード・ビジネス・レビュー)』[EI シリー

ズ』、ダイヤモンド社 (ISBN:4478107963)

2. ターシャ・ユリック、2019、『insight(インサイト)—いまの自分を正しく知り、仕事と人生を劇的に変える自己認識の力』、英治出版 (ISBN:4862762700)

3. 由佐美加子/天外伺朗、2019、『ザ・メンタルモデル 痛みの分離から統合へ向かう人の進化のテクノロジー』、内外出版社 (ISBN:4862574750)

4. 由佐美加子/中村伸也、2021、『ザ・メンタルモデル ワークブック』、オオルリ社 (ISBN:4910693009)

5. マーシャル・B・ローゼンバーグ、2021、『「わかりあえない」を越える—目の前のつながりから、共に未来をつくるコミュニケーション・NVC』、海土の風 (ISBN:4909934014)

6. C・オットー・シャーマー、2017、『U 理論[第二版]-過去や偏見にとらわれず、本当に必要な「変化」を生み出す技術』、英治出版 (ISBN:4862762476)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

クォーター制授業です。1回につき2限分×7回の授業で構成されています。クラスは前半クラス(秋1)と後半クラス(秋2)があります。

注意事項(Notice)